

1プッシュで「伝える」「感じる」コミュニケーション「暗黙知通信」の実証実験開始 ——究極のシンプルコミュニケーションを携帯電話アプリで実現

NTTとNTTレゾナントは、2011年5月19日より、究極のシンプルコミュニケーション「暗黙知通信」の実証実験を「暗黙知通信トライアルポータル」上にて開始しました。本実証実験は、究極のシンプルコミュニケーションの可能性を探るもので、2011年5月19日より2012年2月末までの実施を予定しています。

■実験の背景

近年、ネットワークのブロードバンド化が進み、遠隔地にいる人とも音声のみならず映像を使ったコミュニケーションが可能になりました。電話では、声の調子や会話の間から相手の感情を読み取るしかありませんでしたが、映像を使うことで、相手の表情からも相手の感情を読み取ることができ、より豊かなコミュニケーションが実現されています。

一方でミニブログやSNSの「いいね」ボタンのように、ごく少ない情報量のコミュニケーションも盛んに利用されるよ

うになり、コミュニケーション手段の多様化が進んでいます。今回NTTの研究所とNTTレゾナントは、「多くの情報を伝え合うコミュニケーション」ではなく、「極限まで情報量を減らしたコミュニケーション」に着目し、家族や恋人、友人など、ごく身近な人と同じ空間にいることで共有される「暗黙知」を遠隔でも実現することができないかと考え、今回の実証実験を実施するものです。

■実験の特徴

本実験における「暗黙知通信」とは、コミュニケーションを取りたい特定の相手に対して、携帯電話のボタンを1プッシュすることで、相手との意思疎通を図るものです(図1, 2)。言葉を使わずに、意思を伝えるもので、お互いに継続的に伝え合うことによって相手との相互理解を深めることを目指すノンバーバル・コミュニケーション(非言語コミュニケーション)です。信頼関係で結ばれた家族や友人が「おい」「あれ」といった言葉だけで「分かり合える」コミュニ

伝えたいときにいつでも、携帯アプリを起動して1プッシュで思いを伝える「シンプルコミュニケーション」

- ・お互いの意味(コミュニケーションの内容)を、両者の意思伝達の繰り返しから合意形成言葉のいらぬシンプルコミュニケーションを実現

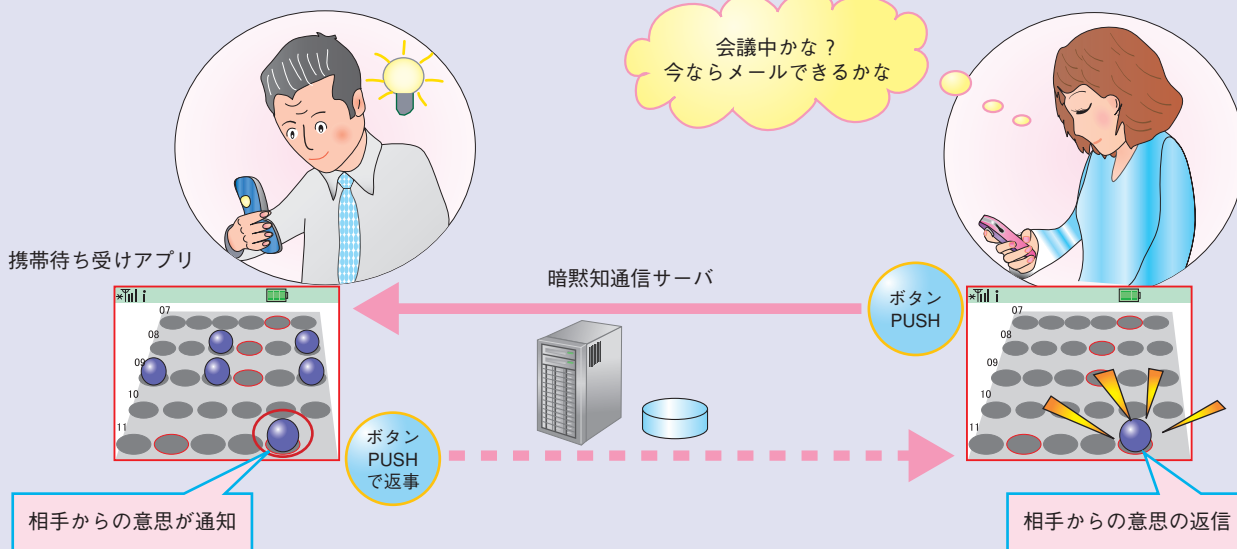
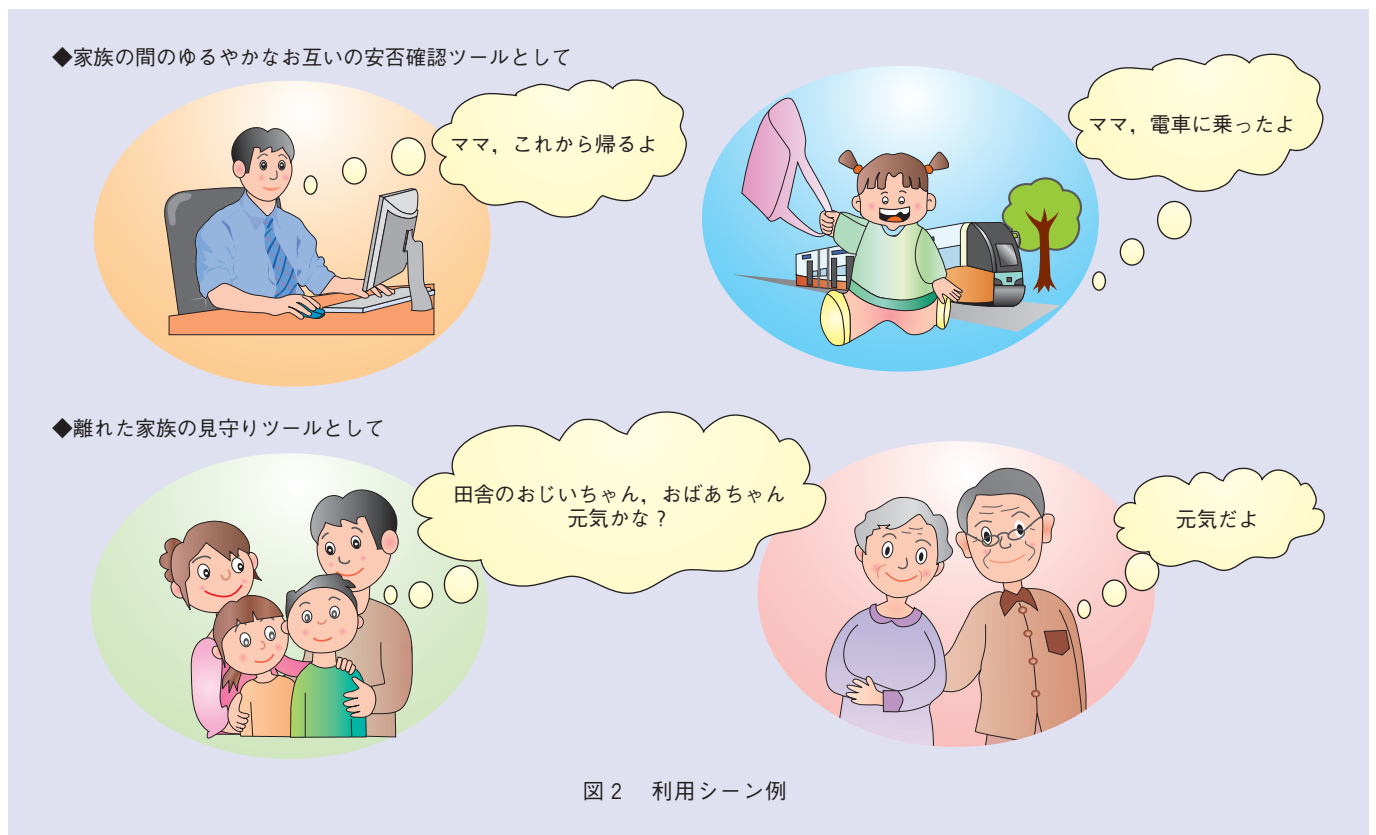


図1 「暗黙知通信」利用イメージ

ケーションを、モバイルを使って遠隔で実現することを目指した、全く新しいユビキタスコミュニケーションとしての可能性を検証します。

本実証実験は、トライアル用ポータルサイト「暗黙知通

信トライアルポータル (<http://amc.ilab.ntt.co.jp/>)」から携帯電話アプリケーションをダウンロードしてユーザーに利用していただくもので、利用動向のデータを蓄積し、有効性をはじめとした多角的な検証・評価を行います。



◆問い合わせ先

NTT情報流通基盤総合研究所

企画部 広報担当

TEL 0422-59-3663

E-mail islg-koho@lab.ntt.co.jp